



令和5年

7月 定例記者会見

7月19日(水) 14:00



市長発言事項

- ・SAGA2024国スポ アーチェリー競技
～リハーサル大会を終えて～
- ・DXプロジェクトを開始します！
～BPR(業務改革)による市民サービスの向上に向けて～

目指す都市像 : みんなが住みやすく、暮らしやすいまち



鹿島市長の発言



SAGA2024 アーチェリー競技

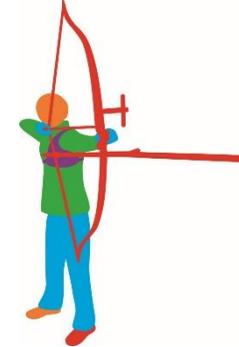
～ リハーサル大会を終えて ～



SAGA 2024 国スポ
全障スポ



2023西日本高校生アーチェリー大会 (SAGA2024アーチェリー競技リハーサル大会)



鹿島市長賞(楯)



メダル表



メダル裏

SAGA 2024 国スポ
全障スポ

DXプロジェクトを開始します！

～ BPR(業務改革)による市民サービスの向上に向けて～



×



BPR（業務改革）※プロジェクトを開始します！

※BPR（ビジネスプロセス・リエンジニアリング）
業務プロセスを見直し全体最適を行い、コスト削減や効率化を行うこと

目的

人口減少に比例し、**市職員数も減少**している中、職員には**限られた時間で質の高い仕事**が求められる。単純・定量的な事務に対し、デジタルの力を活用し、職員が「**より付加価値の高い業務へ専念できる**」環境をつくり、**新たな施策の展開**に注力することで、**市民サービスの向上**につなげる。



概要

- 令和5年7月31日（月）からプロジェクト始動
- 全庁横断的なプロジェクトチームを組成
- 業務におけるデジタルツール※の活用を検討



※デジタルツール（例）

- ・RPA（ロボティクス・プロセス・オートメーション）
- ・AI-OCR（オプティカル・キャラクター・レコグニション）
- ・ノーコードツール



プロジェクトイメージ

業務改革ターゲット

【単純・定量的な事務】

人員不足の環境下で遂行している事務業務における職員負担の軽減、人的ミスの防止につなげる。

BPR（業務改革）

【BPR手法・手段】

業務フロー分析を実施し、フローの最適化、デジタルツール等の活用により、業務改革効果を導く。

BPR手法実装

【期待する実装効果】

- ・業務効率/正確性の向上
- ・事務コストの削減
- ・職員負担の軽減
- ・最適な人員配置計画実行



多様化する市民ニーズに柔軟に応えられる

「**みんなが住みやすく暮らしやすいまち**」へ